

徳島大学

サマープログラム2015報告書



〈編集〉

徳島大学サマープログラム等実施委員会

*Summer Program Organizing Committee
Tokushima University*

巻頭言

例年どおり本年度も4部局において徳島大学サマープログラム・サマースクールを開催し、無事成功裡に終了することができた。本事業を連携・調整する立場にあるサマープログラム等実施委員会、委員長として、各部局において本事業を企画・実施頂いた担当の教職員の皆様、参加された大学院生・学部学生の皆様にはまずもって敬意を表しお礼を申しあげる。

徳島大学サマープログラム・サマースクールは海外協定校等から夏休みを利用して学生・教員を招聘し、徳島での短期滞在を通じて各部局において実施されている特色ある教育研究の取り組みや地方都市、徳島の魅力を紹介し、将来の留学先としての徳島大学をアピールすることを目的にしている。同時に本学の学生にも参加を呼びかけ、在学生のグローバル化、キャンパスのグローバル化も目指す。

徳島大学では、平成19年(2007)、大学院先端技術科学教育部 国際連携教育開発センターの主催により最初のサマースクールが開催された。翌平成20年(2008)、本学は文部科学省による「大学教育の国際化加速プログラム」の一つ、「国際共同・連携支援」事業に採択された。文部科学省支援の下、同年、大学院ヘルスバイオサイエンス研究部とソシオテクノサイエンス研究部の主催による2コースのサマープログラム・サマースクールが開催された。平成24年(2012)から国際センターおよび総合科学部サマースクールが実施されるようになり、今日、4コースのサマープログラム・サマースクールが開催されている。この間、平成22年(2010)には国際センター主導により、中国大連理工大学日本語教員研修コースと中国大連理工大学ソフトウェア学院学生日本文化体験・IT技術研修コースが実施されている。また、これらサマープログラム・サマースクールの事務は当初より国際課が中心となり、国際連携教育開発センター事務、医療教育開発センター事務の協力を得てきた。

平成24年度にサマープログラム等実施委員会が設置され、以後、本事業は全学的に取り組まれ、実施されてきた。平成27年度の徳島大学サマープログラム・サマースクールは本報告書にまとめられている通り、海外からの学生や引率教員2名、本学の学生を合わせ、約150人が参加した。またプログラム内容もより充実したものとなった。今後、本事業をさらに魅力的なものにするとともに、その成果が現れ、海外からの留学希望者が増加することが期待される。また、本学の日本人学生の海外留学意欲が向上することも望まれる。そして本事業が徳島大学のグローバル化教育の推進に少しでも役立てば関係者にとって望外の喜びとするところである。

最後に本年度のサマープログラム・サマースクールの実施にご尽力を賜った各部局の教員各位、事務職員の方々に深く感謝申し上げます。

平成28年3月
サマープログラム等実施委員会委員長
細井和雄

内容

1	サマープログラム2015	1
2. 1	サマープログラム総合科学コース	7
2.1.1	目的	7
2.1.2	日程	7
2.1.3	講義概要	9
2.1.4	エクスカージョン	11
2.1.5	修了証書	13
2.1.6	アンケート集計結果	14
2.1.7	成果報告	15
2.2	医歯薬学研究部統合大学院サマープログラム	19
2.2.1	目的	19
2.2.2	日程	19
2.2.3	講義概要	19
2.2.4	エクスカージョン	23
2.2.5	修了証書	24
2.2.6	アンケート集計結果	25
2.2.7	成果報告	27
2. 3	先端技術科学教育部サマースクール	31
2.3.1	目的	31
2.3.2	日程	31
2.3.3	講義概要	34
2.3.4	エクスカージョン	35
2.3.5	修了証書	36

2.3.6	アンケート集計結果.....	37
2.3.7	成果報告.....	42
2. 4	国際センターサマースクール「徳島であおう！」	45
2.4.1	目的.....	45
2.4.2	日程.....	45
2.4.3	講義・活動概要.....	48
2.4.4	エクスカーション	49
2.4.5	修了証書.....	51
2.4.6	アンケート集計結果.....	52
2.4.7	成果報告.....	60
3	総括	62
4	今後の課題とまとめ	63
5	担当者一覧.....	66
	サマースクールTシャツ	68

1 サマープログラム 2015

1. 1 サマープログラムの目的

1. 徳島大学を海外にアピールし、海外から見た本学の価値を高める
2. 学術交流協定校との関係を強化する
3. 将来の優秀な本学留学生確保につなげる
4. 徳島および日本を知ってもらい、徳島・日本を身近に感じてもらう
5. 徳島大学の教員、職員、学生の国際化を図る
6. 英語による授業を拡充する

1. 2 沿革

(1) 2008 (H20) 年度

6月 文部科学省「平成20年度大学教育の国際化加速プログラム（国際共同・連携支援；交流プログラム開発型）」に「英語力を基盤とする新国際化教育プログラムーサマープログラムと短期海外派遣による国際相互交流の推進ー」が採択された。

8月「サマープログラム2008」として2コースを実施した。

- ① ソシオテクノサイエンスコース（常三島キャンパス）
- ② ヘルスバイオサイエンスコース（蔵本キャンパス）

8月～H21年3月の間に「短期学生派遣プログラム」として3プログラムを実施した。

- ① 別研究プログラム
- ② リサーチプログラム
- ③ 短期語学研修プログラム

(2) 2009 (H21) 年度

8月「サマープログラム2009」として2コースを実施した。

- ① ソシオテクノサイエンスコース（常三島キャンパス）
- ② ヘルスバイオサイエンスコース（蔵本キャンパス）

8月～12月の間に「短期学生派遣プログラム」として3プログラムを実施した。

- ① 特別研究プログラム
- ② サマーリサーチプログラム

③ 短期語学研修プログラム

(3) 2010 (H22) 年度

8月「サマープログラム 2010」として4コースを実施した。

- ① ソシオテクノサイエンスコース (常三島キャンパス)
- ② ヘルスバイオサイエンスコース (蔵本キャンパス)
- ③ 中国大連理工大学日本語教員研修コース (新蔵地区・常三島キャンパス)
- ④ 中国大連理工大学ソフトウェア学院学生日本文化体験・IT技術研修コース (常三島キャンパス)

(4) 2011 (H23) 年度

7月～8月の間に「サマープログラム 2011」として2コースを実施した。

- ① ソシオテクノサイエンスコース (常三島キャンパス)
- ② ヘルスバイオサイエンスコース (蔵本キャンパス)

(5) 2012 (H24) 年度

6月～8月の間に4コースを実施した。

- ① 総合科学部サマースクール (常三島キャンパス)
- ② ヘルスバイオサイエンス研究部統合大学院サマープログラム (蔵本キャンパス)
- ③ 国際センターサマースクール「徳島であおう！」 (新蔵地区)
- ④ ソシオテクノサイエンス研究部サマースクール (常三島キャンパス)

(6) 2013 (H25) 年度

6月～8月の間に4コースを実施した。

- ① 総合科学部サマースクール (常三島キャンパス)
- ② ヘルスバイオサイエンス研究部統合大学院サマープログラム (蔵本キャンパス)
- ③ 国際センターサマースクール「徳島であおう！」 (新蔵地区)
- ④ ソシオテクノサイエンス研究部サマースクール (常三島キャンパス)

(7) 2014 (H26) 年度

7月～2月の間に4コースを実施した。

- ① 総合科学部サマースクール (常三島キャンパス)
- ② ヘルスバイオサイエンス研究部統合大学院サマープログラム (蔵本キャンパス)
- ③ 先端技術科学教育部サマースクール (常三島キャンパス)
- ④ 国際センターサマースクール「徳島であおう！」 (新蔵地区)

(8) 2015 (H27) 年度

7月～8月の間に4コースを実施した。

- ⑤ 総合科学部サマースクール (常三島キャンパス)
- ⑥ 医歯薬学研究部統合大学院サマープログラム (蔵本キャンパス)
- ⑦ 先端技術科学教育部サマースクール (常三島キャンパス)
- ⑧ 国際センターサマースクール「徳島であおう！」 (新蔵地区)

1. 3 実施概要

開講コース	総合科学部サマースクールプログラム 平成 27 年 7 月 6 日～平成 27 年 8 月 11 日 医歯薬学研究部統合大学院サマープログラム 平成 27 年 8 月 1 日～8 月 9 日 先端技術科学教育部サマースクール 平成 27 年 7 月 26 日～8 月 7 日 国際センターサマースクール「徳島であおう！」 平成 27 年 8 月 3 日～8 月 13 日 各コースともに、海外の学生を対象とした英語又は日本語による短期集中講義等を実施して、本学の学生を共に参加させる。
開講場所	・徳島大学 蔵本キャンパス、常三島キャンパス、新蔵地区
対象学生	・学術交流協定校等からの留学生・教員 ・本学学生
主な内容	担当教員による講義、課外活動

1. 4 単位の認定

徳島大学で短期集中講義等を実施し、受講者に修了証書を発行

受入留学生：派遣元大学で将来単位認定が可能〈全コース〉

徳島大学生：

医歯薬学研究部統合大学院サマープログラム

国際統合医療特論 2単位

先端技術科学教育部サマースクール 国際先端技術科学特論Ⅰ 2単位

2. 1 サマープログラム総合科学コース

**Summer Program of Tokushima University,
Integrated Arts and Science Course**

2. 1 サマープログラム総合科学コース

2.1.1 目的

グローバル化が進行する中で、異文化に対する理解力・コミュニケーション力を身につけることが必要になっている。さらに、新しい時代に必要な価値観を創造して、グローバル社会で活躍できる人材の育成が、大学改革に課せられた急務の課題である。徳島大学サマープログラム総合科学コースでは、留学生に加え、本学に在籍する学生が受講できる集中講義の授業を開設した。本学に在籍する学生と留学生が、講義時間中に「グローバル社会」「持続可能な社会」などについて学び、グループで議論を行う。また、授業時間外における課外活動ではピア学習を行い、お互いの言語や文化を学びあう。このような学生同士の対話を通じて、コミュニケーション力と異文化理解を深める。グローバルな視点を育成するために、多様な国の学生が参加できるプログラムとした。

サマープログラムは大学のキャンパス内だけでなく、上勝町、脇町といった郊外に出かけ、そこでの暮らしに触れ、徳島における諸課題を知る場を設け、その解決方法について様々な国の学生が議論できる場とした。諸課題を解決するための手段のひとつとしてボランティアがあげられる。Volunteer experience in local community を講義名の副題としており、エクスカージョンにボランティア実践を盛り込むことで、地域社会における諸課題を体験的に学習できるプログラムとした。そうした諸課題に対して、様々な国からの留学生が自国の課題解決法をお互いに紹介しあい、提案する議論の場を設けることで、地方の課題をグローバルな視点から考える、すなわちグローカルな視野を持つきっかけとした。

このプログラムで外国の大学生との議論をした本学に在籍する学生は、異文化理解に対する興味を高め、交換留学などの制度による留学に興味をもつようになることが期待される。このようにして、日本人学生と諸外国の学生との友好関係を深め、プログラムで培われたグローバル社会への対応力を、自主的な活動や、交換留学に対する動機付けへ発展させることで、留学生も本学に在籍する学生も共にグローバル社会に対応できる人材として育成すること目的とする。

2.1.2 日程

期間 2015年7月6日（月）から8月11日（火）まで

参加人数 総合科学部短期留学生 21名

【中国】	2名	青島理工大学2名
【台湾】	10名	育達科技大学7名、開南大学2名、中原大学1名
【モンゴル】	2名	モンゴルビジネス大学2名
【アメリカ】	2名	パサディナ市立大学2名
【ハンガリー】	2名	カーロリ大学2名

全体スケジュール

7月6日（月）育達科技大学・徳島研修の参加登録

7月14日（火）参加登録

7月15日（水）開会式（9:00-10:00）

7月16日（木）育達科技大学・徳島研修成果報告会（12:50-14:20）

8月3日（月）学生インターナショナル・カンファレンス in けやきホール（1日目）

8月4日（火）学生インターナショナル・カンファレンス in けやきホール（2日目）

8月11日（火）閉会式

○開会式



○学生インターナショナル・カンファレンス in けやきホール



実施体制について

徳島大学サマープログラム総合科学コースは総合科学部サマースクール実行委員会の教員8名、職員1名により運営している。講義は9名の教員により実施され、より多くの教員が関わることで、持続可能性についての討論の授業、日本語の授業、生物学実習、など多様な視点からの内容となった。

協定・合意文書について

これまで総合科学部と合意文書（MOU）を結んでいる青島理工大学、モンゴルビジネス大学、パサディナ私立大学からの参加があった。今回サマープログラムの実施にあたり、新たに合意文書を育達科技大学、開南大学、台北科技大学、中原大学（台湾）、カーロリ大学（ハンガリー）と結び、サマープログラムへの参加があった。

2.1.3 講義概要

全学共通教育の共創型学習科目において「Global Communication - Volunteer experience in local community」を集中講義の授業として開講し、留学生と本学に在籍する学生がともに受講できるようにした。

【授業の目的】

This lecture will be held in order to understand the famous local cultures in Tokushima and in other part of Japan by fundamental studies and practical studies. The most important purpose of this lecture is to skill up the ability of cross-cultural communications with foreign students. During the process of cultural studies, one should have his own opinions on the typical features of own cultures in terms of comparison with other cultures.

【授業の概要】

This lecture was undertaken to establish the fundamental understanding of the local culture in Tokushima that is useful for cross cultural communications. This lecture will be held in English including practical works. Each famous culture has its own history, so this lecture will focus on the origin of the current status of each culture.

【スケジュール】

○講義

7/8（水）	14:35-16:05	日本言語演習／村上敬一
	16:20-17:50	日本語表現の基礎／村上敬一
7/9（木）	10:25-11:55	日本語会話／村上敬一
	12:50-14:20	世界の中の日本語／村上敬一
	18:00-19:30	日本語の敬語／村上敬一
7/10（金）	10:25-11:55	基礎ゼミナール／村上敬一
7/15（水）	10:25-11:55	Cross-Cultural Communication／大橋眞・三隅友子
	14:30-17:50	研修成果報告会準備／村上敬一

7/16 (木)	10:25-11:55	研修成果報告会準備／村上敬一
	10:25-11:55	Indigo Staining／佐藤高則
	12:50-14:20	Volunteer／大橋眞
	14:35-16:05	Japanese & Culture／ピア学習
7/17 (金)	10:25-11:50	Tokushima & Beethoven symphony No. 9 ／石川栄作
	13:00-14:20	Introduction to Japan -Nature and Historical Heritage-／山城考
	14:35-16:05	Global Communication with Citizens／大橋眞
7/21 (火)	10:25-11:55	Molecular Biology／渡部稔
7/22 (水)	10:25-11:55	Cross-Cultural Communication／大橋眞・三隅友子
	12:50-14:20	Music Creation by PC／宮澤一人
	14:35-18:00	Citizen Symposium／大橋眞
7/24 (金)	10:25- 14:20	Exercise／北岡和義
	14:35-16:05	Global Communication with Citizens／大橋眞
7/27 (月)	10:25-11:55	Medical Care System／大橋眞
	12:50-14:20	Japanese and Japanese Culture, AWA Dancing／ピア学習
	14:35-16:05	JAPANESE／村上敬一
7/28 (火)	10:25-11:55	Indigo Staining／佐藤高則
7/29 (水)	10:25-11:55	Cross-Cultural Communication／大橋眞・三隅友子
	12:50-14:20	Music Creation by PC Practice／宮澤一人
7/31 (金)	10:25-14:20	Philosophy／川瀬和也
	14:35-16:05	JAPANESE／村上敬一
8/5 (水)	10:25-11:55	Cross-Cultural Communication／大橋眞
	12:50-14:20	Indigo Staining／大橋眞



2.1.4 エクスカーション

- 7/7 (火) 13:00-17:00 阿波踊り会館、眉山
7/8 (水) 10:00-12:00 徳島城博物館
7/10 (金) 13:00-19:00 お遍路体験、霊山寺
7/11 (土) 13:00-16:00 藍の館
7/13 (月) 13:00-15:00 徳島新聞社・四国放送見学
7/14 (火) 10:00-12:00 徳島市立高校訪問
13:00-14:00 大塚製薬工場
15:00-17:00 鳴門渦潮見学
7/17 (金) 17:00-20:00 異文化交流1 (徳島青少年交流プラザ)
7/18 (土) 異人館、中華街 (神戸)
7/20 (月) 17:00-20:00 異文化交流2 (徳島青少年交流プラザ)
7/23 (木) 9:00-15:00 伝統医療 (脇町)
7/24 (金) 16:25-22:00 吉野川フェスティバルのボランティア
7/28 (火) 12:50-18:00 徳島城博物館
7/30 (木) 13:30-16:00 学童保育と交流会 (小松島公民館)
8/6 (木) 13:00-16:00 Volunteer Excursion (徳島市内)
8/7 (金) ~8/8 日 (土) 自然農園 (勝浦町)、日比谷ゴミステーション、農村舞台、茶摘み (上勝)
8/8 (土) ~8/10 (月) 京都伏見稲荷大社、清水寺 (京都)、道頓堀 (大阪)

○徳島城博物館



○上勝キャンプ



2.1.5 修了証書



FACULTY OF INTEGRATED ARTS AND SCIENCES
TOKUSHIMA UNIVERSITY

1-1 Minamijosanjima, Tokushima 770-8502 Japan

No.

3 September, 2015

CERTIFICATE OF COMPLETION

Name:

Date of Birth:

This document certifies that the student mentioned above has successfully completed the following programs.

Program

Title: Summer Program of Tokushima University

Course: Integrated Arts and Sciences Course

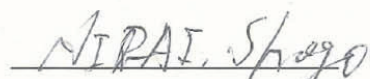
Professor(s): MURAKAMI, Keiichi; OHASHI, Makoto; SATO Takanori;
SATO, Masaya; YAMASHIRO, Takashi; HISADA, Akihiko;
TAKUBO, Hiroshi; SAITO, Takahito

Period: 15th July 2015 – 11th August 2015

Hours: 46h



Signature


HIRAI, Shogo

Dean

Faculty of Integrated Arts and Sciences
Tokushima University

2.1.6 アンケート集計結果

参加目的

- ・ 日本文化の体験と日本への理解
- ・ 日本人や他国の学生と話をし、友人をつくる
- ・ 日本語の学習

サマープログラムの成果

- ・ 友人を得ることで学習することができた
- ・ さらに日本語、日本文化の学習を深める動機となった
- ・ 日本語の学習を開始する／進めることができた
- ・ コミュニティーと協働することの大切さを知った
- ・ 新たな学習（藍染、哲学）に刺激を受けた

印象に残ったプログラムとその理由

- ・ 授業や学生カンファレンスにおいて、様々な学生と交流できた。
- ・ しんくら会館における **Cooking** は友人をつくるのに大変良い機会である。
- ・ 郊外でのエクスカーション（脇町、上勝）を通じて、真の日本の体験ができた。

改善すべき点

- ・ 英語が苦手であるため、英語での授業が難しかった。
- ・ **Citizen symposium** でのグループ会話は、日本語のみで全く理解できなかった。
- ・ ブックレットに学内の情報を盛り込んでほしい
- ・ 茶摘み体験は、炎天下の中であったため、短時間で終了してほしい。

サマープログラムを通じて、今後の学習・進路にどのような影響があったか

- ・ 日本語と英語の学習をもっと行い、将来は国際交流の仕事をしてみたい。
- ・ 再び日本での留学を検討している。
- ・ 帰国後に日本語の学習を続けたい。

2.1.7 成果報告

全学共通教育の共創型学習科目にサマープログラムの留学生を受け入れる集中講義「Global Communication・Volunteer experience in local community」を開講した。本学に在籍する学生も受講でき、「グローバル社会」「持続可能な社会」などのテーマについての議論を行った。こうした取り組みは、参加者が内容の多様性に触れるだけでなく、多様な人との交流の大切さに触れる契機となっている。

集中講義は前期試験期間と重なるため、受講はしないものの、プログラムに参加を希望する学生を部分的に受け入れることができるように配慮した。その一つはエクスカーションへの参加である。エクスカーションに留学生と同行することで、長時間のコミュニケーションが可能である。また、夕方にしんくら会館にて **Cooking** を実施した。留学生と日本人学生が協働して夕食を作り、夕食を共にすることを通じて、長時間の会話を行う。部分的ではあっても、長時間にわたる交流を通じて、本学在籍者が多文化に対する興味、さらには留学に対する興味を高めることが期待される。実際、全学共通教育では、モンゴル、タイ、インド、スロベニア、米国への短期留学を行う授業を実施しているが、これらの授業の受講者の多くは、本プログラムに参加している。

留学生は日本の文化体験を通じた学習の希望が多い。そこでエクスカーションについては、日本の自然・文化・歴史・暮らし・環境・地域課題などを総合的に学習することができるように配慮したプログラムを準備した。体験の後に、考え・議論する視点として、授業ではテーマを「ボランティア体験」としている。ゴミ・リサイクルなどの環境問題について考えるためのエクスカーションとして、吉野川フェスティバルにおけるゴミ・ステーション・ボランティアや上勝町日比谷ごみステーション見学などを実施した。健康・医療・食料に関する課題を発見するために、脇町訪問、自然農園訪問、茶摘み体験等を実施した。

体験を通して知ることの次のステップとして、徳島の諸課題に気づき、世界各国で実践されている課題解決の方法をお互いに学びあうことにある。まずは教室での議論の場を設けた。さらには 2 日間にわたって実施された学生インターナショナル・カンファレンスにおいては、学習成果を発表するとともに、「環境」「健康」「教育」といったテーマをグループで議論し、グループの意見を発表する場を設けた。教室とは異なる空間において長時間を共有することから学生間のコミュニケーションがより図られるものとなった。

学生インターナショナル・カンファレンス in けやきホール(8/3-8/4)と上勝エクスカーション(8/7)は STS コースとの合同企画である。総合科学コースは学部生を対象としているが、STS コースは大学院生であり、議論をする・まとめて意見を発表するといった場面で、大学院生は主体的に参加することに長けており、そうしたスキルを学ぶという点においての学習効果があった。上勝キャンプの農村舞台では、参加者それぞれが自国の文化(歌、ダンス、劇など)を披露するのであるが、総合科学コースにはない国からの参加により多様な文化を直接体験できる機会となった。

本プログラムは 2012 年より開始して、4 年目となる。この間に、プログラムの企画と実施そして反省点を踏まえて、より多くの教員がプログラムに携わり、多様な観点から内容の充実が図られた。特に学生インターナショナル・カンファレンスのように多くの学生が参加する企画において、より教育効果が高く、そして学生の満足度の高いプログラムを提供できていると考えられる。さらには地域社会の課題をボランティアの視点で体験的に学習していくという教育環境の充実が、本学の国際化推進に寄与すると考えられる。

2. 2 医歯薬学研究部

統合大学院サマープログラム

Summer Program Biomedical Sciences Course

2.2 医歯薬学研究部統合大学院サマープログラム

2.2.1 目的

本プログラムは、健康生命科学系統合大学院を構成する5教育部（医科学、口腔科学、薬科学、栄養生命科学、保健科学）と、共同利用・共同研究拠点の疾患酵素学研究センター及び共同教育研究施設の疾患プロテオゲノム研究センターの教員が、専門領域横断的に教育を行うヘルスバイオサイエンス学際教育英語プログラムの夏季集中講義として、授業科目「国際統合医療特論」を開講し、本学が特色とする生命科学学際領域の最先端の研究手法と最新の研究成果を教授するものである。

さらに一般コースの学生にも大学院共通カリキュラム科目「生命科学の研究手法」として履修の機会を提供し、英語による単位の取得を可能とする。海外学術交流拠点校を中心とする留学生のみならず、本学大学院生にも外国人留学生と共に英語で相互学習し、切磋琢磨する学習環境を提供して、日本人学生のグローバルリテラシーの強化を図るものである。

本プログラムの実施により、学生の「英語によるコミュニケーション能力の向上」と海外交流校とのネットワーク形成を推進し、本学大学院における「教育のグローバル化」を目指す。

2.2.2 日程

期間：2015年8月1日（土）～2015年8月9日（月）

参加人数：28名

（内訳 ムハンマディア大学ジョグジャカルタ校 3名
 国立モンゴル医科大学 5名 南通大学 2名
 徳島大学英語プログラム 6名 一般コース 12名

2.2.3 講義概要

2015 Summer Program Biomedical Sciences Course スケジュール

講義場所：総合研究棟 4階大ホール

	8:50-10:20	10:30-12:00	12:00-13:30	13:30-15:00	15:10-16:40	
7月31日(金)	来日					
8月1日(土)	10:00-10:30 オリエンテーション	10:30-11:00 開講式				
8月2日(日)						
8月3日(月)	講義① Protein Experiments I 福井 清 教授 (疾患酵素学研究センター)	講義② Protein Experiments II 頼田和子 助教 (疾患酵素学研究センター)	ランチ	講義③ Cell and Tissue Culture I 尾崎和美 教授 (口腔科学教育部)	講義④ Cell and Tissue Culture II 岩田武男 助教 (口腔科学教育部)	
8月4日(火)	講義⑤ Antibody Experiments in Biochemistry I 馬渡一諭 講師 (栄養生命科学教育部)	講義⑥ Antibody Experiments in Biochemistry II 近藤茂忠 准教授 安倍知紀 助教 (栄養生命科学教育部)	ランチ		16:00～阿波人形浄瑠璃観劇 19:00～合同レセプション(阿波観光ホテル)	

8月5日(水)	講義⑦ Gene Analysis Techniques I 片桐豊雅 教授 (疾患プロゲノム研究センター)	講義⑧ Gene Analysis Techniques II 岡崎 拓 教授 (疾患プロゲノム研究センター)	ランチ	ラボツアー	
8月6日(木)	【特別講演】 Ophthalmic International Cooperation 内藤 毅 特任教授 (国際センター)	講義⑩ Clinical Oncology & Radiation Biology 近藤和也 教授 森田明訓 教授 (保健科学教育部)	ランチ	大塚製薬企業見学	
8月7日(金)	講義⑪ Morphological Methods for Medical Sciences I 常山幸一 教授 (医科学教育部)	講義⑫ Morphological Methods for Medical Sciences II 上原久典准教授 (医科学教育部)	ランチ	講義③ Cell and Tissue Culture I 福井裕行 特任教授 水口博之 准教授 (薬科学教育部)	講義⑨ Gene Analysis in Pharmaceuticals II 山崎尚志 准教授 佐藤陽一 准教授 (薬科学教育部)
8月8日(土)	10:30-11:00 修了式				
8月9日(日)	文化体験(うどん・河野メルクロン)				
8月10日(月)	離日				

2015 Summer Program Biomedical Sciences Course スケジュール(国立モンゴル医科大学)

講義場所: 総合研究棟 4 階大ホール

	8:50-10:20	10:30-12:00	12:00-13:30	13:30-15:00	15:10-16:40	
7月31日(金)	来日					
8月1日(土)	10:00-10:30 オリエンテーション	10:30-11:00 開講式		13:30-15:30 徳島大学-モンゴル国立医科大学交流 10 周年記念会		
8月2日(日)	日本文化体験					
8月3日(月)	講義① Protein Experiments I 福井 清 教授 (疾患薬理学研究センター)	講義② Protein Experiments II 頼田和子 助教 (疾患薬理学研究センター)	ランチ	講義③ Cell and Tissue Culture I 尾崎和美 教授 (口腔科学教育部)	講義④ Cell and Tissue Culture II 岩田武男 助教 (口腔科学教育部)	
8月4日(火)	講義⑤ Antibody Experiments in Biochemistry I 馬渡一諭 講師 (栄養生命科学教育部)	講義⑥ Antibody Experiments in Biochemistry II 近藤茂忠 准教授 安倍知紀 助教 (栄養生命科学教育部)	ランチ		16:00～阿波人形浄瑠璃観劇 19:00～合同レセプション(阿波観光ホテル)	
8月5日(水)	講義⑦ Gene Analysis Techniques I 片桐豊雅 教授 (疾患プロゲノム研究センター)	講義⑧ Gene Analysis Techniques II 岡崎 拓 教授 (疾患プロゲノム研究センター)	ランチ	ラボツアー		

8月6日(木)	【特別講演】 Ophthalmic International Cooperation 内藤 毅 特任教授 (国際センター)	講義⑩ Clinical Oncology & Radiation Biology 近藤和也 教授 森田明訓 教授 (保健科学教育部)	ランチ	大塚製薬企業見学	
8月7日(金)	講義⑪ Morphological Methods for Medical Sciences I 常山幸一 教授 (医科学教育部)	講義⑫ Morphological Methods for Medical Sciences II 上原久典 准教授 (医科学教育部)	ランチ	講義⑬ Cell and Tissue Culture I 福井裕行 特任教授 水口博之 准教授 (薬科学教育部)	講義⑭ Gene Analysis in Pharmaceuticals II 山崎尚志 准教授 佐藤陽一 准教授 (薬科学教育部)
8月8日(土)	10:30-11:00 修了式				
8月9日(日)	文化体験(うどん・河野メリクロン)				
8月10日(月)	離日				

※英語特別コースでは「国際統合医療持論(Global Topics of Interdisciplinary Health Care)」、大学院全専攻系共通カリキュラム科目では

「生命科学の研究手法」と認定

(2) 教育実施体制

本プログラムの教育内容については、医療教育開発センターが中心となり、医・歯・薬・栄養・保健学研究領域の大学院教育課程を俯瞰し、バイオメディカルサイエンス研究に携わる教員による分野横断的な新しい教育システムの開発を進めて毎年度その見直しと改善を図っている。また、ラボツアーに関しては、蔵本地区サマープログラム等実施委員会委員の調整により、5大学院教育部の全ての教員を対象とする研究室での実地研修を実施した。

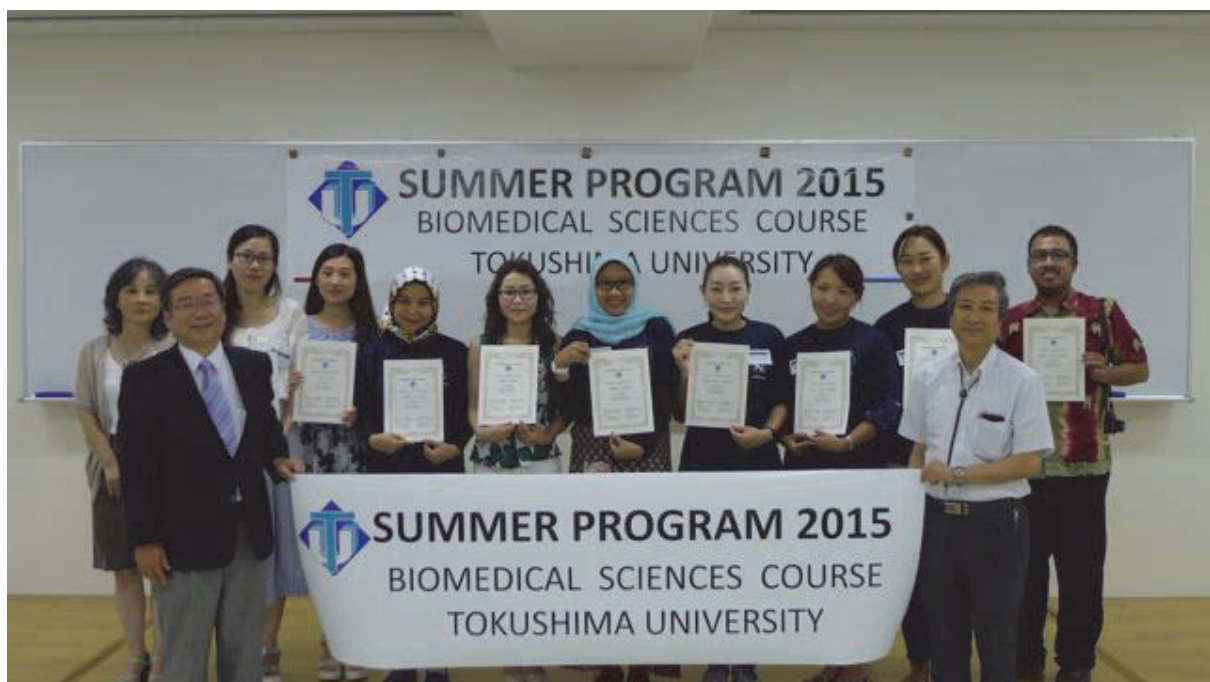
(3) 留学生の宿泊

宿舎は、本プログラム参加学生が同時に滞在できる民間ホテルを大学予算により手配し、滞在中の生活支援と危機管理にあたった。

(4) 参加学生に対する生活支援

文化体験並びに大塚製薬企業見学等の学外での活動における交通費・見学料等は本学が負担した。





2.2.4 エクスカーション

(1) 大塚製薬企業見学

- 12:30～13:20 昼食（徳島市、大塚製薬社員食堂）
13:30～14:20 オロナミンC・マッチ工場（徳島市、大塚食品(株)）
14:50～15:30 輸液ライブラリー（鳴門市、(株)大塚製薬工場）
15:50～16:30 松茂工場（松茂町、(株)大塚製薬工場）

(2) 日本文化体験

- 11:45～12:45 たらいうどん かねぎん（昼食）
13:15～14:50 河野メリクロン
15:00～15:45 うだつの町なみ

蘭夢だより 2015 年秋号 No. 43（河野メリクロン）

TOPICS ★メリクロントピックス

世界平和を

世界 各国から

★6月7日、福岡県博多市にある「医療法人むらつ歯科クリニック」の院長である村津和正先生の著書「続 歯は臓器だった―光への回帰」の出版記念祝賀会がホテル日航福岡で行われ、当社代表が祝辞を述べさせていただきました。村津先生はテレビ番組「世界」

★6月4日、地方自治体実地体験として、国家公務員研修員3名、美馬市新規採用職員13名の計16名の方々が当社を訪れ、地方で奮闘する企業の現状を学びました。

★6月19日には、愛媛県立伊予農業高等学校の生物工学科1年生38名が施設見学に訪れました。

★6月30日には、徳島文理大学人間生活学部人間生活学科の皆さんが、学外研修で当社を見学しました。

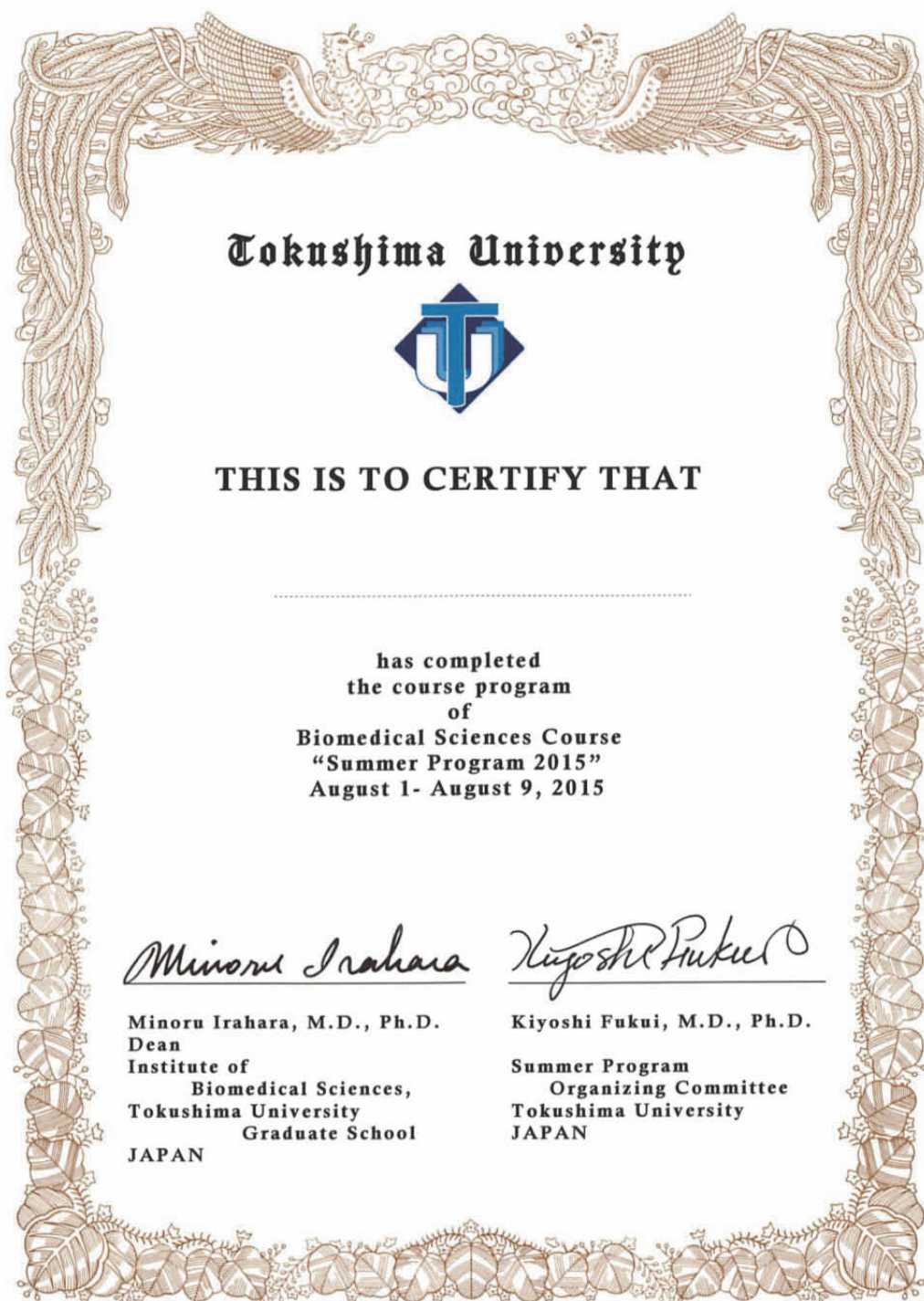
★8月9日には、徳島大学疾患酵素学研究センター長の福井清教授と加藤有介准教授に伴われ、徳島大学の「2015 Summer Program Biomedical Sciences Course」の科学技術体験として、インドネシア・中国・モンゴルの歯学研究科や医学研究科の博士課程や修士課程に在籍する方々が当社を訪れ、バイオテクノロジー技術の開発研究で商品の開発と実用化を進める当社の総合産業化（6次産業化）の取り組みを学んでいただきました。

「河野メリクロン」と「あんみつ館」が出来ること

★6月7日、福岡県博多市にある「医療法人むらつ歯科クリニック」の院長である村津和正先生の著書「続 歯は臓器だった―光への回帰」の出版記念祝賀会がホテル日航福岡で行われ、当社代表が祝辞を述べさせていただきました。村津先生はテレビ番組「世界」

少しでもお役に立ちたい
当社に見学・研修に訪れ、熱心に学ぶ若者たち。その真摯な姿をご紹介します。

Ranmu Dayori 2015 Autumn



2.2.6 アンケート集計結果

(1) 学生

This is a questionnaire to all students who attend the “2015 Summer Program Biomedical Sciences Course”. Please answer each item below.

1) Please give us information of yourself (Please circle)

14名のみ回答

- | | |
|--|------------------------|
| 1. Master Course Graduate Student (3名) | 6. Assistant Professor |
| 2. Doctoral Course Graduate Student (9名) | 7. Associate Professor |
| 3. Laboratory Technician | 8. Professor |
| 4. Scientist/Teaching Staff | 9. Others |
| 5. Lecturer (2名) | |

2) Please tell us your affiliation (with names of the department, institute, university and country)

- ・ 国立モンゴル医科大学
Physiology (1名) Histology (1名) Nephrology (1名) Pathology (2名)
- ・ 南通大学
Research Center of Clinical Medicine, Affiliated Hospital of Nantong University (2名)
- ・ ムハンマディア大学・ジョグジャカルタ校
Periodontology (1名) Pediatric Dentistry (1名) Oral Biology (1名)
- ・ 徳島大学
Molecular Biology (1名) Cardiology (1名) Orthodontics (1名)
Enzyme Pathophysiology (1名)

3) Please tell us your field of study (in detail) (cf. Biochemistry, Immunology, etc)

上記に同じ

4) Was the program, from the academic point of view, satisfactory for you? (Please circle)

Very much [5]	----- [4]	So-so [3]	----- [2]	Not at all [1]
11名	2名	1名	0	0

5) Please tell us what should be improved if you marked 1-3 in Item 4 above?

- ・ 講義資料を講義前にプリントして渡してほしい
- ・ 素晴らしいプログラムであるが、期間が少し短い
- ・ 同一の分野・専攻の人が参加している方が望ましいかもしれない
- ・ キャンパス内でハラルフードの種類を増やしてほしい

6) Was accommodation satisfactory for you? Please write comments.

- ・とても快適でした。心より感謝します
- ・立地条件もよく、中心街に近く、徳島大学蔵本キャンパスにも簡単に行くことが出来た
- ・バスで大学に通えることが良かった
- ・宿舎は完璧でした。スタッフも親切ですすべての必要なもの（TV, WiFi エアコン）が揃っていました
- ・清潔感があり、とてもよかった
- ・夏ですので、冷たいドリンクのサービスがあれば有難いです

7) Was this Japanese Culture Experience Program satisfactory for you? Please write your comments.

Factory Tour

- ・近代的で洗練された設備と技術に感動した。素晴らしい体験であった。説明してくださった女性はとても丁寧で、笑顔が印象的であった
- ・インドネシアでも患者や人々に使われている製品の生産現場を実体験でき、大変満足であった
- ・大塚グループは世界でも極めて大きなグループで、工場設備には大変感銘を受けました。輸液、抗生物質、栄養製品はすべて新世代のもので素晴らしい
- ・輸液の工場として世界でも最大で最先端の製品を生産している

Japanese Culture Experience Program (Naruto and Wakimachi)

- ・とても素晴らしい貴重な体験であった
- ・これからもずっと続けて欲しい文化行事である
- ・日本の固有の文化と長い歴史に大変興味を持った
- ・この訪問はとても価値がある。このような自然の雄大な景色をこれまで体験したことがない
- ・いろんな国の人と友達になれた
- ・自然の美しい風景、島々、森林が高速道路と橋と見事に共存している
- ・阿波踊りはとても楽しかった
- ・鳴門はこれまでコミックでしか知らなかったが、実体験できた
- ・脇町もとても興味深い町でした

8) Do you recommend your juniors to attend our “Summer Program 2014”, if we hold it next year? (Please circle)

Very much [5]	----- [4]	So-so [3]	----- [2]	Not at all [1]
1 2 名	2 名	0	0	0

9) After attending the program, do you think you will apply for our PhD program or recommend your friends/juniors to do so?

Very much [5]	----- [4]	So-so [3]	----- [2]	Not at all [1]
1 2 名	2 名	0	0	0

Thank you very much for your cooperation!!

2.2.7 成果報告

本プログラムの実施にあたっては、医歯薬学研究部を構成する医科学、口腔科学、薬科学、栄養生命科学、保健科学の5教育部と、疾患酵素学研究センター及び疾患プロテオゲノム研究センターの教員18名と国際センターの教員1名が講義を担当して、専門領域横断的に教育を行うヘルスバイオサイエンス学際教育英語プログラム（英語による学位プログラム）の夏季集中講義として、授業科目「国際統合医療特論」を開講した。授業内容は、本学が特色とする生命科学学際領域の最先端の研究手法と最新の研究成果をサマープログラム参加留学生10名に教授した。

また、留学生に魅力的な水準の教育等を提供するとともに、一般コースの学生にも履修の機会を提供し、学内各教育部所属の18名の履修者が受講した。これらの本学大学院在籍者には単位の認定を行なって、教育・研究の国際競争力を図り、留学生と切磋琢磨する環境の中で国際的に活躍できる高度な人材育成の場を提供した。

さらに授業を担当した教員は、収録された英語による講義のeラーニング教材をレビューすることによる自己研鑽に務めて、教授能力の向上を図り、大学院教育におけるFD活動を行なった。これらの教育活動により、徳島大学の教育理念である「学生の多様な個性を尊重して、人間性に富む人格の形成を促す教育を行い、優れた専門的能力と、自立して未来社会の諸問題に立ち向かう、進取の気風を身に付けた人材の育成」を推進した。

本学の国際化推進の観点からの成果としては、英語による体系的な教育プログラムの開発を積極的に進め、eラーニング教材の充実と高度化を図った。本取り組みにより、大学自体の国際競争力強化のみならず、我が国の大学が教育・研究を通して国際社会に貢献していくという、国際的認知度の向上に貢献した。

とくに、今年度は徳島大学-モンゴル国立医科大学交流10周年記念会がサマープログラム開講日に開催され、モンゴル国立医科大学からBatbaatar Gunchin 学長外17名が来学した。モンゴル国立医科大学からサマープログラムに参加していた学生もこの記念行事並びに鳴門方面文化体験をはじめとする交流行事に参加した。

また、全学イベントの阿波人形浄瑠璃鑑賞と合同交流会、研究室実習としてのラボツアーさらに大塚製薬の輸液ラボラトリー等の見学実習を行ない、学術協定校からの積極的で意欲の高い大学院生と、本学の学生が切磋琢磨する環境の中で、国際的に活躍できる高度な人材を育成し、さらに、「アーリーエクスポージャー」としてプログラムを行うことで、今後の本学への正規留学生の獲得に寄与する成果が期待された。最終日には、土成、脇町地区での文化体験と河野メリクロン社にて最先端植物バイオテクノロジーイノベーションの施設見学実習を行ない、河野社長から直々のご説明も頂き、シンビジウムの美しさに海外からの参加者は大変魅了されていた。

今年度は、台風の影響も無く、予定どおり10日（月）には、徳島から帰国の途につき、全てのプログラムを終了した。

2. 3 先端技術科学教育部サマースクール

**International Affiliated Double-Degree Program
Summer School**

2. 3 先端技術科学教育部サマースクール

2.3.1 目的

本プロジェクトでは例年 7 月最終週から 8 月第 1 週に開講が予定されているサマースクールに、上勝町で行われているベンチャービジネスに関するインターンシップと工学と理学を融合させた STEM (Science Technology Engineering and Mathematics) 講義を組み込み、平成 28 年度に予定されている常三島地区理系学部の理工学部設置の 1 つの象徴として先端技術科学教育部、総合科学教育部、全学共通教育センターが共同して環境・エネルギーを意識したサマープログラムを提供する。専門の英語による講義とともに、上勝町の『葉っぱビジネス』を題材に環境ビジネスの仕組みや考え方を体験させ、日本人学生、外国人学生を交えて討論させることで、日本人学生にはこれからの工学を支えていく高度専門職業人に必要な経営センス、英語によるコミュニケーション能力に加え、工学と理学を融合させた知識・経験に基づく問題解決力を身につけさせる。外国人留学生には徳島の中の日本らしさを体験させ、日々の日本社会に息づく環境調和と理工学との関わりを意識させることで、ダブルディグリープログラムなどで徳島大学大学院先端技術科学教育部に留学する動機付けを与える。

2.3.2 日程

期間 2015 年 7 月 26 日 (日) ～ 8 月 7 日 (金)

参加人数 80 名 (Nanotechnology and Material Science Course 37 名、
Electrical Engineering and Information Science Course 43 名)

大学別内訳 Harbin Institute of Technology 5 名、Xi'an Jiaotong University 4 名、National Taiwan University of Science and Technology 14 名、Southern Taiwan University of Science and Technology 4 名、

King Mongkut's University of Technology Thonburi 5 名、National Taipei University of Technology

1 名、North Maharashtra University 5 名、Dr. Babasaheb Ambedkar Marathwada University 1 名、

Universiti Kebangsaan Malaysia 3 名、Universiti Teknikal Malaysia Melaka 6 名)

徳島大学 33 名

First Week				
July 26	16:00 18:00	Registration		
July 27	10:00 10:30	Opening Ceremony	Yasuhiko Kawamura (Dean of Engineering) Toshihiro Moriga (Director, CICEE)	Opening Speech Opening Remark
	10:30 11:30	Common Lecture 1	Pankaj Koinkar	Summer School Orientation: Program and Information
	13:00 14:30	Common Lecture 2	Satoshi Hashimoto	Basic Japanese for Communication
	14:40 16:10	Common Lecture 3	Takeshige Otoi	Collaboration with Asian researchers in the field of assisted reproductive technology (ART) in animals
July 28	10:00 11:30	Common Lecture 4	Hajime Miura	Influence of Exercise and Hypertension/Arteriosclerosis
	13:00 14:30	Common Lecture 5	Ri-ichi Murakami	Physical and Chemical Properties of Nanomaterials
	14:40 16:10	Common Lecture 6	Hiroshi Takubo	The English Language in a Globalized World
July 29	10:00 11:30	Common Lecture 7	Rozzano Locsin	Advancing the Theory of Technological Competency as Caring in Nursing
	13:00 14:30	Special Lecture 1	Chin-Yang Yu (Nano & Mat Sci. Course)	Conjugated Polymers for Optoelectronics
			Yoko Uwate (EE and IS Course)	Nonlinear Circuits and Brain
	14:40 16:10	Special Lecture 2	Mikito Yasuzawa (Nano & Mat Sci. Course)	Preparation of Functional Surface and Application for Biosensors
Akinori Kawachi (EE and IS Course)			Modern Cryptography and Quantum Computing	
July 30	10:00 11:30	Common Lecture 8	Shih-Hsuan Chiu	Development of Mask Projection Stereolithography (MPSLA) rapid prototyping system
	13:00 14:30	Special Lecture 3	Keh-moh Lin (Nano & Mat Sci. Course)	Spectroscopic ellipsometry characterization of transparent conductive oxide films microstructure and optical constants
			Shun Nishide (EE and IS Course)	Creation of developmental robots using neural networks
	14:40 16:10	Special Lecture 4	Takeshi Yasui (Nano & Mat Sci. Course)	Advanced Photonics Research
Jin-Ping Ao (EE and IS Course)			Introduction of Semiconductor Devices	
July 31	10:00 11:30	Common Lecture 9	Raja Izamshah	Composites Materials for Aerospace
	13:00 16:00	Laboratory Visits	Nano & Mat Sci. Course and EE and IF Course	
August 1	17:00 21:00	Local Sightseeing	Tokushima Central Park, Tokushima Castle Museum, Hyotanjima Boat Tour	
August 2	7:00 21:00	Field trip 1 : Hiroshima Museum and Memorial Park, Hiroshima City Departure from Tokushima University Arrival at Tokushima University		

Second week				
August 3	9:00 12:30	Student Conference	Student's Presentations 1	- Introduction of a project for sustainable society - Health Care system in Local Community
	13:30 15:30		Group Discussion	- Introduction of a project for sustainable society - Health Care system in Local Community
	15:30 16:30		Poster presentation	- Introduction of a project for sustainable society - Health Care system in Local Community
August 4	9:00 10:00	Student Conference	Student's Presentations 2	Wisdom of Local Community
	10:00 11:00		Group Discussion	Wisdom of Local Community
	11:00 12:30		Poster presentation	Wisdom of Local Community
	16:00 18:00	Cultural Show		
	18:30 20:30	Intercultural Party		
August 5	7:45 8:30	Field trip 2: Otsuka Pharmaceutical town, Itano town, Tokushima	Departure from Tokushima University Arrival at Otsuka Pharmaceutical Company	
	9:00 10:00		Visit to Medical Division	
	10:00 10:30		Visit to Food Division	
	11:00 12:00		Departure from Otsuka Pharmaceutical Company Arrival at Tokushima University	
August 6	7:00 10:30	Field Trip 3: Kyoto city	Departure from Tokushima University Arrival at Kyoto	
	10:40 12:00		Visit to Kinkakuji temple Departure from Kinkakuji	
	12:30 13:30		Lunch Visit to Kiyomizu Dera temple	
	16:30 20:30		Departure from Kiyomizu Dera temple Arrival at Tokushima University	
August 7	8:30 9:15	Field Trip 4: Kamikatsu Town	Departure from Tokushima University Arrival at Natural Farm Kamikatsu Town	
	10:00 10:30		Departure from Natural Farm Arrival at Zero Waste shop (Kuru Kuru Shop)	
	11:15 11:45		Departure from Zero Waste Shop Orientation at Fureai hall	
	12:00 13:00		Lunch Preparation for group performance	
	13:30 15:15		Group Performance Exchange Meeting and Discussions with local residents	
	16:00 17:00		Departure from Fureai Hall Arrival at Tokushima University	
	17:15		Closing Ceremony	

2.3.3 講義概要

実施期間 2015年7月26日（日）～8月7日（金）

大学院先端技術科学教育部が開講しているサマースクールは、平成27年度では本教育部に所属するダブルディグリーコースの学生を加え80名の受講生、うちアジアの国々から本学あるいは工学部の学術交流協定校を中心に48名の外国人学生を迎えた。7月27日に開講式を行い、簡単な日本語表現・会話の講義、蔵本地区から講師を招いての医歯薬学に関連する講義、及び工学と理学を融合させたSTEM講義など共通講義の後、ナノテクノロジーコースおよび電子・情報工学コースの2コースに分かれ、より専門的な内容を学内・学外の講師により英語で提供し、足かけ2週間のプログラムがスタートした。



開講式



講義の様子



学生発表会

2.3.4 エクスカーション

上勝町文化体験・インターンシップ

実施日：2015年8月7日（金）



上勝での体験



自国文化紹介



Summer School 2015: Survey

prepared by CICEE, Tokushima University

The purpose of this questionnaire is to survey different aspects of the Summer School. It will be useful to improve our organizational skill and the quality of future Summer Schools supported by Tokushima University and CICEE.

1. What were your reasons for attending Summer School? (you can choose more than one)

- i. The financial and accommodation support [72%]
- ii. I want to attend this university in the future [44%]
- iii. Because of the location of the University [28%]
- iv. The choice of subjects and activities [75%]
- v. I have friend who applied here too [17%]
- vi. Other reason (please write) [28%]

2. How do you judge the quality in general?

i. Overall Program

Excellent [70%] Good [30%] Average [0%] Poor [0%]

ii. Quality of lectures

Excellent [39%] Good [56%] Average [5%] Poor [0%]

3. How do you evaluate the organization and planning?

i. Accommodation

Excellent [47%] Good [28%] Average [25%] Poor [0%]

ii. Social Events (field trip.....limited students went for field trip)

Excellent [58%] Good [39%] Average [3%] Poor [0%]

iii. Overall Organization and Planning

Excellent [61%] Good [36%] Average [3%] Poor [0%]

4. How do you classify the laboratory visits and/or exercises?

Excellent [50%] Good [50%] Average [0%] Poor [0%]

5. How much influence do you expect the knowledge & skills you learned at the summer school will have on your future?

A great deal [36%] A lot of [47%] Moderate [17%] A little [0%]

6. As a result of the summer school do you think you are more or less likely to get involved in research that is interdisciplinary?

More likely [42%] Likely [53%] Less likely [5%] Not likely [0%]

7. As a result of attending the summer school, to what extent were you able to achieve goals

that are important to you?

More likely [36%] likely [58%] Less likely [3%] Not likely [0%] N/A = [3%]

8. Do you like to participate in future Summer Schools?

Absolutely Yes [89%] Maybe [11%] No [0%]

9 The parts of field trip that you liked most?

The place, The nature, The architecture

Otsuka, Hiroshima, Kyoto

Kamikatsu, Miyajima, Kiyomizu-dera

Soyjoy Factory, Hiroshima Museum, Katsuura (Dance performance)

Native view (Miyajima island), Culture in Japan (Temple), Factory in Japan (Otsuka corp.)

Kyoto, Hiroshima, Pharmaceutical Company

Hiroshima, Kyoto city, Kamikatsu town

The temples and know more about Japanese culture, the nature (自然の宿)、Hiroshima, get to memory the past history.

Hiroshima, Kyoto

Hiroshiam & Miyajima trip, Kyoto trip, Kamikatsu trip.

Hiroshima, Kamikatsu village, Kyoto

Miyajima island, T7Golden Temple, Hiroshima

Time management

Hiroshima museum

Kyoto city, Kamikatsu town

Kyoto city, Miyajima, Hiroshima, Kamikatsu town

Sightseeing, especially miyajima island and Kyoto, Meal allowance helped a lot

Temple visit

The change chance of community with the foreigner student is good. Getty the knowledge from different culture. Visit Kyoto.

The communication with students from other countries. Visiting to Kyoto city to know more about Japan.

Visiting to medical D and Food division.

Kyoto, Hiroshima, Otsuka

Miyajima island, Kinkaku-ji, Kyoto, Hiroshima memorial

The bonding of students from the field trips. The caring of Koinkar sensei. The place of field trip.

Miyajima island, kinkaku-ji, Kyoto, Hiroshima

Visiting historical place Hiroshima. In Kyoto I really impressed by visiting Buddha's temple. Enjoyed the cultural program at kamikatsu town.

Otsuka Pharmaceutical Company, Field trip at Hiroshima, Kamikastu town

Miyajima Island visiting, Kyoto

In the field trip to Hiroshima I loved the Myajima Island, the samurai, of Myanjima shrine. The trip to Kyoto city was mesmerizing. The Kamikatsu village field trip was most amazing. I enjoyed it the most.

Arrangements of a good class busses and time to time announcement regarding the trip to get better for us.

All most all field trips has its own uniqueness. All are a good experience.

Kamikatsu Town – Make zero waste, maybe your things are not important to you but important to others.
Kyoto city – Seeing beautiful temple and beautiful girl in kimono. Hiroshima Museum – Learn the impact of nuclear bomb to humans and buildings.

Kamikatsu Town. Otsuka Pharmaceutical Company, Hiroshima

Kamikatsu Town, Hiroshima, Kyoto city

Miyajima island, Kamikatsu Town, Kyoto city

Kyoto city, Otsuka pharmaceutical Itano town, Kamikatsu Town

Kyoto field trip, visiting the most popular temple, the view is too nice. Hiroshima, Miyajima Island! There is too elegant and many souvenir. Can have the chance to ride a ferry.

Visit Japan heritage. In the Hall or the exchange party. Teaching teachers from different countries.

10 The parts of field trip that you disliked most?

Long distance, spending less time in the place we visited, staying in bus

Kamikatsu (why we do*** go to Natural farm?)

Hiroshima Musium, Kinkaku-ji

Kyoto (Temple & So Far distance), Miyajima (Huge area with limit time), After visit soyjoy Factory (Free time shopping mall)

The weather is hot (Temple and Miyajima island)

None

The schedule everyday is very busy. The time spend in the bus is too long. I think the trip should be set first before the class began.

May the time is limited and we can not deeply visit, Before may give some guide to students, The time of transportation is really long.

The time arrangement is a little tight. The distance of trip is a little long.

Kamikatsu town

Kyoto Temples

Kyoto city (spend too much time on traffic)

Field trips are very exhausting

Group performance

The time is too short. The activities is too far and the bus-time is a little long. The free-time is a little short.

The free time is a little short. The visit is not deep enough. Some trips are too far from Tokushima University.

Village

The rest for every journey is very short. The Indian students are too distracting. I don't know why.

I think that I really like all field trips. So there is no point to dislike any field trips.

Kamikatsu town (Too much suspended time)

I can't say dislike word but I would nave liked to spend some more time in Hiroshima. Other than that everything was like capturing moments.

None of it I can remember.

Kamikatsu Town – We can't see natural farm.

Kyoto city

Zero waste shop (Kuru Kuru Shop)

Kamikatsu Town.

Kyoto field, not enough space for seat, it makes us feel so small and hot.

Kamikatsu Town.

11. Free comments on other subjects and suggestions:

Thank you for the support and helping, especially. I'm very appreciated of Prof. Koinkar helping.

We spent too much time in travelling instead of enjoying the attraction site in the field trip.

I feel so appreciate to Tokushima summer school program & Team. They arrange this program so good. I get so many experiences and study many things in Japan, So inspire me so much, Thank you!

This program is very useful and It can attract International student.

Japanese food experience, combined the traditional one and modern.

The interactive activities between different summer school should be more them this time. A bicycle for the student is necessary, we spent too much time on the road from campus to the station.

Maybe we can add some museums to visit, to know more about the culture and history, After all, speeches need to be added, it's not enough for graduate students.

To organize a visit around Osaka. To organize a visits for Panasonic, Toshiba and Sony.

Make the Summer School time longer.

The overall organization of summer school was excellent. I really appreciate the efforts made by the organizers to success this school. I learned more new things which will be helpful for me in near future. I would like to visit again to Tokushima Uni. Thank you.

The programs are overall excellent, However, they are always some improvement that should be done for the future summer school. Such as, participation of lectures or facilitation that can speak English.

I like this summer school. Also like the professor K. This university all technical & supporting staff because they are very helpful.

The summer school should have been much longer than 15days. And more practicums should have been included also.

Nevertheless it was a very good educational experience. Thank you for giving me the opportunity!

I would like more free time, to explore Tokushima and enjoy the stay more. The accommodation is not up to expectation, however, still acceptable. The room is too small for three persons.

Special courses may be more, free time may be longer.

Free time maybe more.

The number of person in one room should not exceed 2 persons. It will wake if difficult to move and steep.

Overall a good Summer School.

I love everything about this summer school.

Should have more enjoyable activities and field trip to the interesting places like Naruto and Osaka.

I really enjoyed this summer school and field trips also. Due to this program my knowledge is get updated. In suggestion, I would like to give one suggestion to you, Please add chemistry as major subject in summer school program.

Laboratory visits can add more, because it's very courage us!

Accommodation could be better.

No comment/ suggestions but I would like to express my deepest gratitude for giving this opportunity to me to attend summer school 2015.

A personalized lab visit, like we can communicate with respected Professor and if he/she permits we can visit. (Maybe on his/her suggested time). Different than the program (maybe for 2)

I like 3D printer subject. Thanks for this great lecture because it relates with my subject.

I think that, Lecture course is a long time. It must change schedule for suitable.

Overall very good.

More financial support would be better.

Provide more field trip and extend the period of the field trips. Add on more group discussion with Japanese students.

Accommodation would be better.

2.3.7 成果報告

本年度は、総合科学部（教育部）のサマースクールとの連携を重視し、第2週目の多くのプログラムを共同で行った。例えば、8月3日、4日にわたりけやきホールで行われた学生発表会が挙げられる。常三島地区の学生も交え、それぞれの学生の出身国・出身地域の紹介からはじめ、以下の3つのテーマ、“持続可能な社会のための取り組み”、“地域社会における健康管理システム”、“および”地域社会の知恵と取り組み“について調査し、公開で紹介し意見を交わし合った。

またこの学生発表会で討論した内容を総括する意味で、サマースクール終盤には上記の上勝町で行われている環境ビジネスに関するインターンシップを組み込み、常三島地区の学生および外国人学生に、座学だけではない環境・エネルギーを意識したサマースクールプログラムを提供し、ハイテクだけではない、徳島の中の日本らしさをベンチャービジネスの視線から体験・理解させることができた。サマースクール終了後に行ったアンケート結果からも、この上勝におけるインターンシップ体験は好評を博したことがわかった。

先端技術科学教育部の日本人学生と外国人学生が行動を共にし、意見を述べ合い交流することで、互いの文化・習慣に理解を深めつつ、環境工学に携わる高度専門職業人の金の卵として留学するモチベーションを向上させることができた。先端技術科学教育部サマースクールの参加学生増加とともに、参加学生の満足度を大きくすることによって徳島大学の世界展開力強化事業の成功へと繋げたい。

最後になったが、本教育部のサマースクールは日本学生支援機構JASSOの平成27年度海外留学支援制度（協定受入）プログラムの支援を受けた。ここに記して謝意を表したい。

2. 4 国際センターサマースクール

「徳島であおう！」

International Summer School

Get together in Tokushima!

2. 4 国際センターサマースクール「徳島であおう！」

2.4.1 目的

本サマースクールは、(1) 海外の大学から参加する学生が、将来本学で交換留学生や正規外国人留学生として学んでもらうこと、(2) 徳島大学での学習・研究、ならびに徳島の文化について理解してもらうこと、また(3) 日本人と他国からの参加学生がお互いに出会い・知り合うことで、今後の国際化に向けた自らへの振り返りをうながすことを目的として実施した。

2.4.2 日程

期 間：2015年8月3日（月）～8月13日（木）

※8月11日（火）に修了式を行った。

参加人数：約100名 海外参加者：40名

日本人学生・一般：のべ約40名

本学留学生：のべ約20名

【中国】 13名

・北京航空航天大学 1名

・大連理工大学 9名

・吉林大学 3名

【韓国】 1名

・韓国海洋大学校 1名

【インドネシア】 15名

・ガジャマダ大学 6名

・ハントゥーア大学 5名

・Health College of STIKES AISYIAH 4名

【台湾】 2名

・国立台湾嘉義大学 2名

【マレーシア】 5名

・マレーシア国民大学 5名

【スウェーデン】 4名

・ルンド大学 4名

日程

1 日目：8 月 3 日（月）		
15:30-	徳島駅集合 & ホテルチェックイン	
2 日目：8 月 4 日（火）		
10:30-11:00	開講式	日亜会館 2F 講義室
11:00-12:00	プログラム・オリエンテーション	
12:00-13:30	昼休み	
13:30-14:30	徳島・徳大紹介	
14:30-15:30	徳大生との交流	
16:30-17:50	徳島文化体験 人形浄瑠璃	けやきホール
19:00-21:00	サマープログラム合同交流会	阿波観光ホテル
3 日目：8 月 5 日（水）		
9:00-09:55	日本人学生サポーターとキャンパスツアー	常三島・蔵本キャンパス
10:00-11:30	研究室訪問	各研究室
11:30-12:50	日本人学生サポーターと学食体験	生協食堂
13:00-14:30	特別講義「Space Biological Experiments of Tokushima University with JAXA」 （二川健教授）	日亜会館 2F 講義室
15:00-17:00	日本文化体験 茶道・華道	日亜会館・しんくら会館
4 日目：8 月 6 日（木）		
10:30-12:00	徳島文化体験 新聞放送会館見学	新聞放送会館
12:00-14:30	昼休み	
14:30-15:15	日本人学生とのピア学習 （地方行政理解：県庁・県議会）	日亜会館 2F 講義室
15:15-15:30	県庁へ移動	
15:30-16:30	徳島文化体験 地方行政・組織理解および副知事・議長表敬訪問	徳島県庁
5 日目：8 月 7 日（金）		
9:00-11:00	徳島ビジネス体験（大塚製薬企業見学）	大塚製薬（オロナミン C・ポカリスエット工場、能力開発研究所）
11:00-12:00	昼食	大塚製薬内食堂
13:00-14:30	徳島ビジネス体験（市岡製菓工場見学）	市岡製菓
15:00-17:00	ゆめタウンにて買い物・自由行動	ゆめタウン

6 日 目 : 8 月 8 日 (土)		
9:30-11:00	徳島文化体験 藍染め体験	藍の館
11:30-12:30	昼食	パワーシティ鳴門
13:00-15:00	徳島文化体験 渦の道	渦の道
15:30-16:30	徳島文化体験 霊山寺参拝	霊山寺
7 日 目 : 8 月 9 日 (日)		
	Free Day	
8 日 目 : 8 月 10 日 (月)		
9:00-10:00	オリエンテーション	日亜会館 2F 講義室
10:00-13:30	地域住民との交流 徳島まち歩き	徳島市内
13:30-17:00	ワークショップ フォトブック作成	日亜会館 2F 講義室
9 日 目 : 8 月 11 日 (火)		
10:00-13:30	振り返り&まとめ プレゼンテーション準備	日亜会館 2F 講義室
13:30-15:00	プレゼンテーション	
15:00-15:30	修了式	
16:00-17:30	フェアウェルパーティ	
10 日 目 : 8 月 12 日 (水)		
9:30	ホテルチェックアウト	ホテル
10:00-20:30	自由行動 (阿波踊り見学)	徳島市内
21:00-23:00	バス移動 (神戸市へ)	バス
23:00-23:00	ホテルチェックイン	神戸市内ホテル
11 日 目 : 8 月 13 日 (木)		
	ホテルチェックアウト・解散	神戸市

2.4.3 講義・活動概要

実施期間 2015年8月3日(月)～8月13日(木)

場所 日亜会館2F国際センター講義室他(日程参照)

講師一覧

国際センター長	副学長(国際担当)	細井和雄
国際センター教員	教授	金 成海
	教授	Gehrtz 三隅友子
	特任教授	内藤 毅
	准教授	坂田 浩
	准教授	橋本 智



集合写真



人形浄瑠璃体験



研究室訪問



合同交流会



華道体験



日本人学生との交流

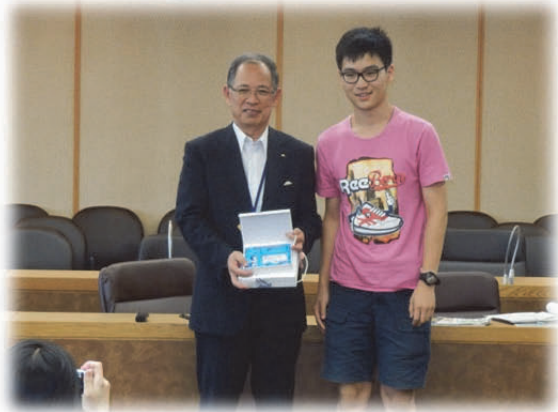
2.4.4 エクスカーション

日時：2015年8月6日（木）

○新聞放送会館見学 10:30~12:00



○県庁表敬訪問・県議事堂見学 15:30~16:30



日時：2015年8月7日（金）

○企業見学（大塚製薬） 9:00-11:00



○市岡製菓訪問 13:00-14:30



日時：2015年8月8日（土）

○藍染め体験 9:00-11:00



○渦の道見学 13:00-15:00



○霊山寺参拝 15:30-16:30



Tokushima University



THIS IS TO CERTIFY THAT

(NAME)

has completed
the course program
of
International Center Summer School
“SUMMER PROGRAM 2015”
August 3 – August 13, 2015

A handwritten signature in black ink, reading "S. Kagawa".

Susumu KAGAWA, M.D., Ph.D.
President
Tokushima University,
JAPAN

A handwritten signature in black ink, reading "Kazuo Hosoi".

Kazuo Hosoi Ph.D.
Chairman
Summer Program Organizing Committee
Tokushima University,
JAPAN

PROGRAM QUESTIONNAIRE

For International Summer School at Tokushima University, 2015

Please answer ALL items in this program questionnaire.

41 名回答 ※引率教員 1 名含む

1) Please write your affiliation (with names of the department, institute, university and country)

【韓国】韓国海洋大学 1 名 (経済学部 1 名)

【インドネシア】ガジャマダ大学 6 名 (歯学部 6 名)

【インドネシア】ハントゥーア大学 5 名 (歯学部 5 名)

【インドネシア】Health College “STIKES AISYIAH”大学 4 名

(医学部 2 名、看護学科 1 名、理学療法学科 1 名)

【中国】大連理工大学 9 名 (工学部 9 名)

【中国】北京航空航天大学 1 名 (工学部 1 名)

【中国】吉林大学 3 名 (工学部 2 名、看護学科 1 名)

【マレーシア】マレーシア国民大学 5 名 (法学部 1 名、経済学部 3 名、栄養学科 1 名)

【台湾】台湾嘉義大学 2 名 (外国語学部 2 名)

【スウェーデン】ルンド大学 4 名 (法学部 1 名、日本語学科 3 名)

2) Did this program have a positive impact for your study? (Please circle)

Very much	-----	Average	-----	Not at all
5 (22 名)	4 (12 名)	3 (7 名)	2	1

- ・ 多くの友人ができ、日本と徳島について多くのことを知ることができた。
- ・ 今後は徳島大学で勉強したいと思った。
- ・ 徳島の食べ物、人々、文化が好きになった。ここではいい暮らしができると思った。
- ・ 日本人たちから几帳面で真面目な態度を学ぶことができた。
- ・ 自分の将来設計に影響を与えた。
- ・ 日本語を学びたいという意欲がわいた。
- ・ 初対面の人とコミュニケーションをとる自信がついた。
- ・ 将来は日本で働きたいと思った。

3) What did you learn through the following activities (What did you think about the following activities)?

- Tokushima Local Culture Experience: Awa Ningyo Jyoruri (Traditional Puppet Play)
 - ・ 何についての話なのか理解できなかった。
 - ・ 初めて見たが、とても面白かった。
 - ・ このような伝統的な芸能が今も残っているということはとてもいいことだと思う。
 - ・ とてもいい雰囲気だった。

- Networking Event: International Exchange Party at Awa Kanko Hotel
 - ・ どの料理もおいしく、パーティーはとても楽しく素晴らしかった。
 - ・ 全員が阿波踊りに参加できて、一緒に踊れたのがよかった。
 - ・ 様々な国の人と友達になることができ、日本での体験を共有できた。
 - ・ 阿波踊りについて知ることができてよかった。

- Learn the University: Meeting Japanese Students and Campus & Laboratory Tour
 - ・ 最新の先端技術を見ることができた。
 - ・ 大学病院の施設が整っていることにとても驚いた。
 - ・ 実際に、教授と学生の話聞くことができた。
 - ・ 日本人学生とコミュニケーションを取ることができた。
 - ・ 将来日本語の教授になりたいと思っているため、徳島大学にもっとたくさんの学部があればいいなと思った。

- Special Lecture “My Space Biological Experiments Collaborated with JAXA” by Prof. Nikawa & Associate Prof. Rudwill
 - ・ 私は理系の学生ではないが、教授の話はとてもわかりやすく面白かった。
 - ・ 宇宙でも生活について学べた。
 - ・ 少しわかりづらかったが、視野を広げることができた。
 - ・ もっとビデオが見たかった。

- Japanese Culture Experience: Tea Ceremony and Flower Arrangement
 - ・ 日本の伝統文化を理解することができた。
 - ・ お茶は少し苦かったが、お茶会を楽しむことができた。
 - ・ お茶、お菓子をとても気に入った。
 - ・ とても楽しかったが、正座がつらかった。

- Japanese Business Culture: Tour in the Newspaper and Broadcasting Hall
 - ・ テレビ局や新聞社の現場を見ることができた。
 - ・ 建物がとてもきれいで人も優しくかった。
 - ・ アナウンサーに会うことができて嬉しかった。
 - ・ 新聞紙でできたバッグをもらうことができた。

- Visiting Prefectural Government Office and Assembly Hall
 - ・ 日本人の真面目さを感じることができた。

- ・ 副知事と質疑応答ができてよかった。
- ・ 県庁を訪問することができ、光栄だと思った。

- Tokushima Business Culture at Otsuka Factory and Human Resources Center, Lunch and Ichioka Seika Sweets Factory

- ・ お菓子がとてもおいしかった。
- ・ 多くの知識を得ることができた。
- ・ 工場での作業はすべてコンピュータ化されていてとても驚いた。
- ・ 大塚製菓での昼食はとてもおいしかった。
- ・ 市岡製菓のハラル抹茶ケーキがとてもおいしかった。

- Tokushima Local Culture Experience: Indigo Dyeing, Whirlpool Observation, Ryozen-ji Temple

- ・ 各訪問先に関しての十分な説明がなかった。
- ・ 藍染は興味深く、とてもよい作品を作ることができた。
- ・ 藍染の芸術性に触れることができてよかった。

- Peer Learning Activities: Tokushima Town Walk with Local People and Making a Photo Book

- ・ 屋外で天気が暑すぎたが、それ以外はとても素晴らしかった。
- ・ 自分たちのペースで回ることができた。
- ・ 地域住民のみなさんはとても優しくかった。
- ・ とても暑くて集中力を保てなかった。
- ・ 徳島についての新たな発見がたくさんあった。
- ・ 徳島市について知ることができ、たくさんの日本語のフレーズを学べた。
- ・ いい思い出がたくさんできた。

4) What do you think you learned the most through interactions with Tokushima people and students during this program?

- ・ 徳島の人がとても親切だということ
- ・ 日本人が真面目であること
- ・ 他国の人とのコミュニケーション
- ・ 時間を守ること
- ・ 常に規則に従うこと
- ・ 茶道
- ・ 日本語、日本の文化
- ・ 徳島大学での学生生活
- ・ 挨拶の仕方、日本人の振る舞い
- ・ 言葉が通じない中でのコミュニケーションの取り方
- ・ 互いを受け入れ、互いを理解すること

5) What do you think you learned the most through this summer school?

- ・ 日本および他国の文化
- ・ 礼儀正しさ
- ・ 日本の伝統的な文化や歴史
- ・ 他の参加者との友情
- ・ 友好的になり、相手を受け入れるということ
- ・ 様々な国の人と英語で会話できるということ
- ・ 時間や規則を守ること
- ・ 他国の人との関わり方
- ・ 徳島の人々との交流
- ・ チームワーク
- ・ 穏やかな気持ちでいれば何事も楽しめ、どんな問題も解決できること

6) Please tell us what should be improved in this program.

- ・ 大学からホテルまでの道が難しかったので、もう少し地図に店舗やレストランの名前があればよかった。
- ・ とても暑かったので、バスを出してほしいと思った。
- ・ 日本の学生がもっと英語を使いこなせばいいと思う。地元の人と交流するのが少し難しかった。
- ・ 10 日間では少ないと思った。
- ・ 朝食、昼食、夕食を参加費込みにしてほしい。
- ・ 徳島以外へもいけるようにすれば、もっと日本の文化について学べると思う。
- ・ もっと多くの学生や徳島の人と関わって、日本や徳島の話共有したかった。
- ・ 暑いので移動手段を変えてほしい。
- ・ 日本語の授業があればいいなと思う。
- ・ もっといい宿泊施設にしてほしい。

7) Do you recommend your juniors to attend our summer school, if we hold it next year? (Please circle)

Very much	-----	Average	-----	Not at all
5 (33 名)	4 (6 名)	3 (2 名)	2	1

8) Do you want to come back to TU for your study?

Very much	-----	Average	-----	Not at all
5 (23 名)	4 (14 名)	3 (4 名)	2	1

9) Overall, what do you think about this summer program?

- ・ 今まで体験したサマープログラムの中で一番よかった。
- ・ 初めての体験が多くでき、とても楽しかった。
- ・ 終わってしまったのが寂しいぐらい、忘れられない体験となった。
- ・ 徳島で素敵な時間を過ごせた。
- ・ 日本の大学で勉強するという雰囲気を味わうことができた。
- ・ 多くの国の友達ができた。
- ・ 徳島に帰ってきたい。来年もぜひ参加したい。
- ・ このプログラムをととても気に入った。もっとここで日本語、日本の文化、日本人について学んでいきたい。
- ・ このプログラムを通して日本の美点を理解できた。

We hope you enjoyed this program and learned a lot at Tokushima.

Thank you for your cooperation.

PROGRAM QUESTIONNAIRE

For International Summer School at Tokushima University, 2015

Please answer ALL items in this program questionnaire.

1) Please write your affiliation (with names of the department, institute, university and country)

2) Did this program have a positive impact for your study or future career? If yes, please write the reasons.

3) How did you think about the following activities?

- Tokushima Local Culture Experience: Awa Ningyo Jyoruri (Traditional Puppet Play)

Very much	-----	Average	-----	Not at all
5	4	3	2	1

- Networking Event: International Exchange Party at Awa Kanko Hotel

Very much	-----	Average	-----	Not at all
5	4	3	2	1

- Learn the University: Meeting Japanese Students and Campus & Laboratory Tour

Very much	-----	Average	-----	Not at all
5	4	3	2	1

- Special Lecture “My Space Biological Experiments Collaborated with JAXA” by Prof.
Nikawa & Associate Prof. Rudwill

Very much	-----	Average	-----	Not at all
5	4	3	2	1

- Japanese Culture Experience: Tea Ceremony and Flower Arrangement

Very much	-----	Average	-----	Not at all
5	4	3	2	1

- Japanese Business Culture: Tour in the Newspaper and Broadcasting Hall

Very much	-----	Average	-----	Not at all
5	4	3	2	1

- Visiting Prefectural Government Office and Assembly Hall

Very much	-----	Average	-----	Not at all
5	4	3	2	1

- Tokushima Business Culture at Otsuka Factory and Human Resources Center, Lunch and Ichioka Seika Sweets Factory

Very much	-----	Average	-----	Not at all
5	4	3	2	1

- Tokushima Local Culture Experience: Indigo Dyeing, Whirlpool Observation, Ryozen-ji Temple

Very much	-----	Average	-----	Not at all
5	4	3	2	1

- Peer Learning Activities: Tokushima Town Walk with Local People and Making a Photo Book

Very much	-----	Average	-----	Not at all
5	4	3	2	1

4) What do you think you learned the most through interactions with Tokushima people and students during this program?

5) What do you think you learned the most through this summer school?

6) Please tell us what should be improved in this program.

7) How do you think about Tokushima University?

8) Do you recommend your juniors to attend our summer school, if we hold it next year? (Please circle)

Very much	-----	Average	-----	Not at all
5	4	3	2	1

9) Do you want to come back to TU for your study?

Very much	-----	Average	-----	Not at all
5	4	3	2	1

9) Overall, what do you think about this summer program?

We hope you enjoyed this program and learned a lot at Tokushima.

Thank you for your cooperation.

2.4.7 成果報告

2015年8月3日（月）～8月13日（水）まで、国際センター主催の下、サマースクール「徳島であおう！」を開催した。このサマースクールは、国際センターとして三回目の取り組みであり、今年度は6カ国（中国、インドネシア、台湾、韓国、マレーシア、スウェーデン）からの留学生40名、日本人大学生・地域住民約40名、本学留学生約20名の合計100名が参加する、国際色豊かなプログラムとなった。

【本サマースクールの趣旨・特徴】

昨年度同様、今年度のサマープログラムでも（1）参加する学生が、将来本学で交換留学生や正規外国人留学生として学んでもらうことを第一義的な目的とし、その目的に向けて（2）徳島大学での学習・研究、ならびに徳島の文化について理解してもらう、また（3）本プログラムで日本人と他国からの参加学生がお互いに出会い・知り合うことで、今後の国際化に向けた自らへ振り返りをうながす、という方針で全体のプランニングを行った。工学部ならびに医歯薬系のサマープログラムが「大学院博士課程に入学する学生をリクルートする」ことを念頭に置いている一方で、本サマースクールは将来本学修士課程に入学する留学生ならびに交換留学生として本学で短期間学ぶ学部学生をターゲットとしており、まずは「本サマースクールに参加した学生が、4-5年後博士課程に入学する」こと、そして「徳島にまた来たいと思う」気持ちを育むことを念頭にプログラムの企画をした。

以下、本プログラムの内容に沿って、（1）研究室訪問及び特別講演に代表される徳島大学におけるアカデミックな活動に関する情報提供、（2）阿波踊りや茶道・華道体験などの体験的文化学習、（3）日本人学生・地域住民との関わりを通じて、徳島・徳島大学への理解を深める交流を中心とした学習、（4）合同交流会を通じたネットワークの形成、という4点を基に本サマープログラムについてまとめ。

（1）徳島大学におけるアカデミックな活動に関する情報提供

「徳島大学におけるアカデミックな活動に関する情報提供」に関しては、国際センター教員による「徳島大学紹介」、常三島・蔵本地区での「研究室訪問」、大学院医歯薬学研究部二川教授による「特別講演」を中心に、内容を企画・立案した。本プログラムに参加する学生の専門分野は多岐にわたり、日本語学、経済学、歯学、栄養学、看護学など様々な分野について興味・感心を持っている。そのため、今回は総合科学教育部、栄養生命科学教育部、口腔科学教育部、保健科学教育部、先端技術科学教育部に協力を依頼した。

参加者にとっては、最先端の研究を直接見聞きすることができただけでなく、各部局のユニークな研究や教育活動について知ることができた点でも大きな刺激となったと考える。参加者が将来本学で学ぶためには、「何を学ぶことができるのか」といった学術分野に関する情報、「誰の下で学ぶことができるのか」といった指導教員に関する情報は非常に重要であり、今回の「徳島大学紹介」、「研究室訪問」ではこれらの情報を具体的に提供することができた。

(2) 徳島・日本の学びの提供

今回のプログラムでは、地域・学生サポーターの協力による茶道や華道体験、藍染め、大塚製薬工場などの企業見学、徳島市での阿波踊り見学、阿波人形浄瑠璃の鑑賞と体験、「とくしま異文化キャラバン隊」とのコラボレーションによる「徳島まち歩き」など、多様な文化理解と交流の機会を提供し、参加者には非常に好評だった。特に、今回は「徳島まち歩き」に、共通教育「国際交流の扉を拓く」を受講している日本人学生・留学生が参加し、授業と連携する形で同体験学習を展開したことは非常に高く評価できるであろう。

(3) 日本人学生、地域住民、そして大学の国際化

「国際交流の扉を拓く」の授業と連動し、日本人学生が徳島紹介の冊子を作成し、実際に文化体験の旅行にも同行して交流を行った。また、サマースクール中の様々な活動（キャンパスツアー、文化体験、合同交流会、阿波人形浄瑠璃など）にも日本人学生の参加を促してプログラム参加者との交流を行うようにし、参加者と日本人学生が異文化・多文化を共に学ぶ機会を提供した。大学内外での活動と一緒に行うことで、参加者・日本人学生双方に対する国際理解教育が行えたと考える。

徳島大学に在学している外国人留学生との交流を行う時間を設けることで、参加者がより徳島に親しみを感じ、将来の徳島大学への留学を現実のものと思えることができたと思われる。

茶道体験などいくつかの活動には地域住民にも参加してもらい、参加者がより多彩な日本人との交流を行う機会を設けることができた。また、異文化・多言語の大勢の外国人学生に接することで、地域住民の外国人に対する理解を進めることができた。

(4) 合同交流会を通したネットワークの形成

交流会に関しては、昨年度に引き続き他部局のサマープログラムとの合同交流会を阿波観光ホテルで開催した。他のサマープログラムの参加者や日本人学生、地域住民、大学教員・職員と交流し、徳島邦楽集団による邦楽のパフォーマンスを鑑賞する機会にもなったことから、参加者にとっては非常に良い交流の機会になった。

3 総括

徳島大学においては、本年度も例年と同様に総合科学部サマースクール、医歯薬学研究部統合大学院サマープログラム、大学院先端技術科学教育部サマースクール、および国際センターサマースクールの4コースのサマープログラムを実施した。本学は、4コースのサマープログラムを実施するようになってから4年目になるが、各コースのプログラム実施時期は全学の委員会である「サマープログラム等実施委員会」において検討し、昨年度と同様、全プログラムの中心となる時期を7月下旬-8月初旬に合わせた。その結果、4コースの出席者全員が参加できる「阿波人形浄瑠璃体験」および「合同交流会」を8月4日に実施できた。また、2、3のコースで、徳島地域見学旅行および企業訪問を合同で実施できた。4コースのプログラム全体を合わせて海外の協定校等から合計118人の学生と引率教員が本学を訪れた。本学からも約30人の日本人学生がサマープログラムに参加し、訪問学生らと交流を行った。

総合科学部サマースクールと国際センターサマースクールは学部学生を対象とし、医歯薬学研究部統合大学院サマープログラムと大学院先端技術科学教育部サマースクールは学部高学年または大学院生を対象としたプログラムを提供している。それぞれのプログラムの中で実施される英語による授業や研究室訪問、キャンパスツアー、合同交流会等により海外からの学生は徳島大学を知ると共に茶道や和楽器、人形浄瑠璃、藍染めなどの日本文化を体験することができた。また、県内企業訪問や文化体験等を通じて日本の伝統文化や徳島を知ることができた。海外から参加した学生は徳島や日本に対する理解を深め、徳島や日本を身近に感じることもできたものと思われる。一方、本学から参加した日本人学生にとっては海外に関心を持つ良い機会となり、グローバル化の推進にも一定の効果があったものと推測している。さらに、サマープログラムの学生募集を通じ、徳島大学を海外にアピールすることができた。

海外から参加した学生の中には、本学への留学を希望している学生もいた。このプログラムのねらいは海外からの参加学生が本学を体験し、将来、本学への本格的長期留学に繋げることにある。巻頭言にも記載した通り、本学のサマープログラム・サマースクールは先発部局で9年、後発部局でも4年になる。しかし、プログラムの効果の定量的検証はこれまでなされていない。これまでもサマープログラムへの参加をきっかけに本学への留学を決定した学生もおり、一部、優秀な留学生の確保につながっている。アンケート等を実施し、これまでの成果を検証するとともにより効果的な企画を策定する必要がある、またその時期に来ていると思われる。

なお、海外からの参加者からはこれら4つのサマープログラムについて、高い評価を得ており、次年度も引き続き実施する予定である。

4 今後の課題とまとめ

【サマースクール全体としての今後の課題】

- ① 大学全体の取組みとして、統一性のあるコース設計
- ② 交流行事等のイベントの合同実施
- ③ 期間や規模等、サマープログラムの定義の明確化
- ④ 担当教員、事務職員の業務量の軽減
- ⑤ 関係部局からの経費、業務の支援
- ⑥ 参加者受入れ国の拡大
- ⑦ 参加者が滞在する快適な宿舍の確保
- ⑧ 天候不順の際の対応、代替案の準備

【総合科学コース】

（１）実施体制

当初は少人数の教員で実施してきたサマースクールであるが、今年度は実行委員が８名に、授業担当教員が９名まで増え、授業、実習、生活全般などの面で関わる事が可能となった。平成 28 年度に改組が行われ、現在の協力教員・授業担当教員が 3 学部と教養教育院の 4 部局に分散する。可能な部局ごとにコースを設置することが予想されるが、これまでの連携を今後も継続し、コース間の協力を密に行うことが重要であろう。

（２）協定・MOU に関して

MOU の有効期限は 5 年となっていて、2018 年以降に改訂の必要がある。学生の参加・受講体制を確立するためにも学生交流協定を結ぶ必要がある。特に、上述の新コースに参加する場合は、協定・MOU が必要となることに配慮する必要がある。

（３）初級の日本語授業について

今回、日本語の授業を新たに設けた。留学生の日本語のレベルは多様であり、単一の授業ではカバーできないものとなった。個々のコースごとに準備するだけでなく、徳島大学サマープログラム全体で提供される授業を提案していく必要がある。

（４）本学に在籍する学生について

授業やエクスカージョンに参加した本学に在籍する学生の満足度は非常に高い。しかしながら、参加者数がそれほど多くない。これは在籍学生の参加者は共通教育を受講する 1 年生が多く、サマープログラムの開催時期と、試験期間が重なることが敬遠の要因である。より多くの在籍学生の参加を促すため工夫が今後の課題である。

【医歯薬学研究部統合大学院サマープログラム】

今後のプログラムの継続・発展のため、本プログラムの実施並びに成果検証は、プログラム等実施委員会が国際交流委員会と連携して行う。本学大学院生と留学生による授業評価を総合して成果を検証、評価する。その結果を大学院教育の継続した国際化計画につなげるとともに、本プログラムの発展・充実のために活用する。

また、本学のFD委員会と連携して、大学院教育に関する教育内容・方法について組織的な研究・研修ができるFD活動を継続して実施し、担当教員の教育・研究能力・語学力を向上させる。

さらに、外国人教員や学内外の学識経験者等による点検・評価を行なって、自立的な改善を図る予定である。

次年度以降の実施に関しては、平成20年度採択の「大学教育の国際化加速プログラム」から8年間一貫してサマープログラムとして毎年実施してきた実績に基づき、教育内容の質の向上を図って、新たなプログラムを医歯薬学研究部にて企画立案する計画である。

とくに、本プログラムを新規正規入学リクルートに資するべく内容の充実を図るとともに、本プログラム参加留学生とのインタビューを積極的に実施して、留学生のニーズと留学志望動向を把握する。

さらに、講義コンテンツのe-learning教材の活用により、交流校における単位認定に際して、本プログラムの質の保証を担保するとともに、修学成果の測定に供する等の取組みを行い、より充実した魅力あるプログラムの開発に努める計画である。

【先端技術科学教育部サマースクール】

サマースクールの開催期間は夏休み中であり航空運賃が1年の中で最も高額な時期であり、阿波踊りの開催期間の直前でサマースクールの後半では民間の宿舍費が高額になるなど徳島の地域的な事情も相まって存在している。本サマースクールに参加する外国人学生は、中国や台湾をはじめ、マレーシア、タイ、インド等発展途上の国がほとんどである。先端技術科学教育部で申請した平成27年度JASSO留学生交流支援制度のうち、サマースクールに参加する学生が使用可能な短期受入れ（短期研修・研究型）プログラムは採択されたため、本年度は比較的余裕を持ってサマースクールを実施することができたが、今後、サマースクールを継続して実施するためには、学生の渡航費・滞在費を安定して確保する必要がある。

また、本年度は昨年度の経験を生かして基本プログラムを2週間とした。昨年度実施した約1ヵ月にわたるプログラムでは学生も実施委員も疲労の色は隠せなかったが、この2週間のプログラムが先端技術科学教育部の体力的にもプログラムの内容を充実させるのにも適切な期間で会ったと思う。ただ実施時期については、前期授業実施期間中の試験期間とも重なるため約90名の大人数を収容できる講義室等の確保が大変であった。また、前期試験期間と重なったことで、日本人学生の受講者数が少なくなったものと考えられる。

本年度はサマースクール期間中の天候は概ね安定していたが、開講日直前の7月25日・26日に台風が沖縄から九州西方に接近し、また終了日直後の8月8日・9日には台湾を超大型の台風が横断する事態に見舞われ、特に台湾から参加した学生は不便を強いられたように聞いている。本年は、情報センターの協力を得て常三島キャンパス内でのゲスト用無線LANの使用を許可いただき、気象情報をはじめとする滞在中に必要な情報を必要ときに獲得できる環境を整えた。

最後に、サマースクール実施に対する実施教員の負担について述べる。大学の国際化に興味のない教員からのサマースクールへの協力はほぼ皆無に等しく、例年ほぼ決まった教員に対し、前期試験期間中の大切な時期に負荷がかかっているのが実情である。大学としても、サマースクールで講義を担当した教員に対してインセンティブを設けるなど、一部の教員の努力に甘えることなく積極的に支援していかないと、継続的な実施が困難になる恐れがある。また、国際センターのサマースクールとも連携を図り、専門的な体験は先端技術科学教育部・工学部が担当する代わりに、徳島大学で実施されるサマースクール申込窓口の統一や、日本文化体験あるいは企業見学については国際センターが担当するなど、これまで以上にサマースクール運営業務の効率化を図るべきだと考える。

【国際センターサマースクール】

1. 日程・期間の課題

以前の参加者から、「2週間ぐらいのプログラムにしてほしい」「阿波踊りを体験したい」との要望があったことから、今年度は阿波踊りの初日を含む10日間程度のプログラムを計画した。

昨年度のような悪天候による計画変更もなく、今年度はすべての日程を予定どおり行うことができた。特に、阿波踊りを少しでも肌で感じてもらえたのは非常に良かったようで「こんなにすごいとは思わなかった」「また是非徳島に来たい」という声を多く聞くことができた。開催時期に関しては、阿波踊りの時期、試験期間等を勘案し、この時期に実施するのが望ましいと思われる。

2. 日本人学生・地域住民との交流の機会を増やす工夫

今回は、日本人学生や地域住民との交流を促進するために、共通教育「国際交流の扉を拓く」、「日本語」などの授業を通じた活動、「とくしま異文化キャラバン隊」とのコラボレーションによる「徳島まち歩き」を開催した。特に「徳島まち歩き」は非常に参加者にとって印象深かったようで、「徳島の川がとても整備されていて感動した」「新しい街並みの中に古いお寺があって、新しい文化と古い文化が共存しているのが新鮮だった」などのコメントが聞かれた。今回は授業を通じた交流も実施したが、準備に十分な時間を取ることができず、十分な交流を生み出せなかったことは反省点である。

3. 他部局や事務との更なる連携

合同交流会など、他部局との連携を進めてきたが、今後は共通授業、講義や文化体験などの共同実施を検討する。他部局及び事務との連携には、事業の詳細を早く決定すること、確実な情報を提供することなど、お互いの努力が必要であり、今後の課題である。来年度は、常三島を中心にサマープログラムを展開する予定であることから、更に協力しながら準備を進めていく必要があると考える。

5 担当者一覧

サマープログラム等実施委員会実施委員長

細井 和雄：副学長（国際担当）・国際センター長

サマープログラム等実施委員会実施委員

細井 和雄：副学長（国際担当）・国際センター長

荒木 秀夫：副理事（教育担当）・教授（大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部）

金 成海：教授（国際センター）

Gehrtz 三隅友子：教授（国際センター）

福井 清：教授（疾患酵素学研究センター）

田中 栄二：教授（大学院医歯薬学研究部・口腔科学教育部）

山崎 哲男：教授（大学院医歯薬学研究部・薬科学教育部）

大塚 秀樹：教授（大学院医歯薬学研究部・保健科学教育部）

森賀 俊広：教授（大学院ソシオテクノサイエンス研究部）

齊藤 隆仁：教授（教養教育院（仮称）設置準備室）

内藤 毅：・特任教授（国際センター）

坂田 浩：准教授（国際センター）

橋本 智：准教授（国際センター）

近藤 茂忠：准教授（大学院医歯薬学研究部・栄養生命科学教育部）

総合科学部サマースクールプログラム

大橋 眞：教授（大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部）

齊藤 隆仁：教授（教養教育院（仮称）設置準備室）

田久保 浩：教授（大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部）

佐藤 高則：准教授（大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部）

佐藤 征弥：准教授（大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部）

山城 考：准教授（大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部）

村上 敬一：准教授（大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部）

久田 旭彦：助教（大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部）

医歯薬研究部統合大学院サマープログラム

福井 清：教授（疾患酵素学研究センター）

赤池 雅史：教授（大学院医歯薬学研究部・医療教育開発センター長）

田中 栄二：教授（大学院医歯薬学研究部研究部・口腔科学教育部）

山崎 哲男：教授（大学院医歯薬学研究部・薬科学教育部）

大塚 秀樹：教授（大学院医歯薬学研究部・保健科学教育部）

近藤 茂忠：准教授（大学院医歯薬学研究部・栄養生命科学教育部）

国際センターサマースクール「徳島であおう！」

細井 和雄：副学長（国際担当）・国際センター長

金 成海：教授（国際センター）

Gehrtz 三隅友子：教授（国際センター）

内藤 毅：特任教授（国際センター）

坂田 浩：准教授（国際センター）

橋本 智：准教授（国際センター）

先端技術科学教育部サマースクール

森賀 俊広：教授（大学院ソシオテクノサイエンス研究部）

Koinkar, Pankaj M.：助教（大学院先端技術科学教育部国際連携教育開発センター）

康 鑫：助教（大学院先端技術科学教育部国際連携教育開発センター）

浅田 沢：大学院先端技術科学教育部国際連携教育開発センター事務補佐員

事務局

小林 裕美：国際課長

大田 朋哉：国際課課長補佐

松尾麻里子：国際課国際交流係長

北村 友香：国際課国際交流係事務補佐員

サマースクールTシャツ

2012年、第一回国際センターサマースクール「徳島であおう！」の開催に際し、参加者や日本人学生サポーター、教職員の一体感を高め、互いに協力して国際交流を推進することを目的に青色のTシャツを作製した。キャッチフレーズ「徳島であおう」は、①徳大生も含めた徳島の人にあう、②参加した各国の仲間にあう、③自分を見つめ直して新しい自分にあう、の意味が込められている。このTシャツのバックの文字は国際センターの地域サポーターでもある書道家の作で、以後、毎年国際センターサマースクールで使用されていたが、2015年は、4つのコースすべてで色違いのTシャツを作製することとなった。

参加者の良き思い出になると同時に、帰国後にもこのTシャツを手にとって徳島大学への関心を深めてくれることが期待される。



国際センター（ブルー）



医歯薬学研究部（ネイビーブルー）



総合科学部（ライトブルー）



先端技術科学教育部（ライトグリーン）

バックの文字「徳島であおう」は書道家の吉野美苑（吉野美保）氏（「美苑書の会」主催者）による作

徳島大学サマープログラム 2015 報告書

編集発行： 徳島大学サマープログラム等実施委員会

徳島市南常三島町 1 丁目 1 番地

088-656-7079

発行年月日： 2016 年 3 月 31 日

